

かしら。

十二月六日 歌ひたい、踊りたい、こいふ氣持が一杯になつて居る時、子供等は何もかも忘れて歌つたり、踊つたりする。又他の子供等も寄つて来て仲間入りする。踊らずに居られないらしい。こんな時は子供にまつては一番愉快な時でせう。子供の仲間入りして子供と一緒に遊ぶのは本當に楽しいものだ。

然し私には教育者としての修養が出来てゐないから、最も完全に指導するこいふこゝが出来ないのを残念に思ふ。保姆こいふものは楽しいものだが、むづかしいものだ、しみ／＼思つた。

十二月八日 Kさんは繪を畫くこゝが何よりも好きらしい。繪を畫いてゐる時だけは側目もふらずに一心に取掛つてゐて、顔つき迄美しい。だが繪がすむと、こゝてもこゝわい顔になつて言葉まで暴々しく本當に醜い姿に變る。

朝「お早う」こ飛び着いて來たのは、今

學期中唯一回だけであつたが、其時は本當にやさしいKさんであつた。もし「お早う」こ言へない時は私の脊中をトシ／＼叩く。ふり向くこニッコリこ笑つて抱きつく。こんなこゝが四五回あつたゞけで、大抵は寄りつかない。私はKさんのこゝが忘れられない。いつもKさんに付き添つてゐて、お話をしたり、繪を畫かせたりして美しい氣持だけにして上げたいこ思つてゐる。Kさんは可哀想である。

今後ごんなに醜い態度をしても腹立てしてはならぬ。悪しみの心を起してはならぬ。

深い廣い愛を以て接し、私の力で出来るだけ美しい子供になる様努力しよう。

幼児の自由遊びの取扱ひ方に就て

岡山市立 南方幼稚園

西岡千代子

幼児の生活は其の全部が自由遊びである云はれませう。

然し之は廣い意味のものでありまして、幼稚園に於て從來使用されてゐます處の自由遊びなる語は幼稚園に於ける幼児の生活指導を二つに大別して設定保育云ひ一を自由遊び云ふ風に俗に狹義の言葉になつてゐる様に思はれますが、私は幼稚園に於ての幼児の生活活動はその全體を自由遊びであるこ申し度いのであります。

幼児は斷へず自由遊びを行つてゐます。

保姆は斷へず幼児の遊びをその心中より敏捷なる眼で正確に觀察しそして其の遊びをよく理解しなければなり

ません。

身體的に活動旺盛な幼児でありまして、時には或物を發見しそこより全く精神的のみの活動が始まり、身體的の活動を伴はない事もありませう。

此の場合保姆が不注意に外形のみを見、この幼児はよう生活してゐない、さあ私が指導をこ手を取り他に誘ふにしますならこの幼児は折角自發的に働いてゐたものを妨害される事なるでせう。

幼児の心の奥より湧き出た所の遊びがよく伸展して行くのを見ます時實に愉快を感じ幼児と同じく嬉しく思ふものであります。

男女児の一團が飯事遊びを始めお父さんさなるもの、お母さん、子供達、女中、其他何々ミ幼児達の間に各々の配役が定まり、そして其の役割りを懸命に營んでゐます、中でもこの遊びの中心人物たるお母さんの働き振り子供達を色々ミ世話し、その言葉遣ひミ云

ひ、その態度様子等大人が見てゐたなら吹き出しさうな、其の時若し保姆があゝ面白さうね、ミ瞬間なりミも見守つたなら、大抵の幼児はその遊びをそのまゝはよう續けないでせう。

この場合指導者はこの遊びには直接觸れないで、他の幼児にして遊びを求めてゐるものさか、其の他適當な幼児を見出し誰々さん八百屋さんになつてあそこのお家へお野菜を賣りに行つて上げて下さい。ミでも申しませうか早速その幼児は草花を摘み八百屋さんになり賣りに行く事にその幼児達の生活は始まり、又それに依つて、さつきの飯事遊びもミ馳走の材料が豊富になつた爲、より充實した遊びミなるでせう。又室内に於て塵紙等にクレヨン等で色々ミ模様を畫き彩色して遊んでゐるそれ等をそのまゝにして置きますミ、終りはあゝ奇麗だで抽出しかポケットに仕舞はれるならまだよろしいが、時には破つてその邊りへ散らされる事さ

へあります。

この時、保姆が一言、その模様はお人形の着物にしたら、こちらのは帶のやうねミ、そこよりお人形造りが始まり、出来上れば人形遊びミなり、又數多く出来れば人形のお店も開かれるミでせうし此の他各方面に發展して行くでせう。

幼児の遊びは色々ミ遷り變つて行くものであります、保姆はいつもその遊びを認識し遊びを基として保育の計畫を立て、常に心ミ材料の準備を以て遊びの中より計畫したる保育へミ無理の無い生活の流れを造り度いものミ常に考へるのであります。

大勢の幼児はいつも同時に同じ遊びは致してくれません。

あちらで數名、こちらで一組、お室で、ブランコで、砂場、滑り臺で、ミ云ふ風に、又中には保姆の手元でないミ遊ばないミ云ふ幼児も居るかと思へばいつも一人ぼつちで遊びたがる變人

も居るでせう。

或保育に理解を持つてゐられる筈の方より度々聞かされる事でありませうが、幼稚園に於ける自由遊びは常に保母が中心となり全園児が同一の遊びをしてゐなければいけない、保母の手元で一目出来る様に遊ばせよ。

私は之を聞きます時もつこもだこも思ひますが、さうしても満足は出来ません。

他人に見て貰ふ遊びなら誰にも一目で見えるお揃ひの遊びが最も經濟的であり美しいかも知れませんが然し、幼児が自由に心懸に遊ぶ其の遊びは誰に見て貰ふ云ふ様な野心は何處にもない、我あるをさへ忘れたる有様なのです。

無論保母が中心となり遊ぶ事も應々あります、又全園児同一の遊びに熱中するこゝもありません。

時に依り環境によつてその型體は異なりませう。

入園當初ならば大抵の場合保母が中心で其の遊びも外形的に纏まりませうが、最早や幼稚園の生活に慣れて参りますと、さうばかりは出来ません。

幼児は全く自發的に大いに自己活動をして來ます、これこそほんさうの自由遊びであるを考へます。

多くの遊びに分れてゐてもその遊び全體が保母の頭の中に纏まつてゐたならば決して差支へないと思ひます。

保母が幼児が身體的に離れてゐるから云ひ、又保母の眼が直線的に幼児に届いてゐない云つて後で、横で、あちらで、何をしてゐる事が皆目分らない云ふ様な事ではならないと思ひます。各グループに於ての遊びが如何なる動向にあるかの大體を知つて居てこそ遊びの誘導が出來、又此處に至つて始めて保母の氣持に落付きが出來、その氣持は自然に幼児に傳はり、幼児も安心して遊びを充分に展開するこゝが出來得るでありませう。

この多くの自由遊びの取扱ひ方を具體的に羅列しますならこれ又限りなくありませう。

何の遊びに於ての場合かはかう取扱かつたら云ふ様な事は餘りにも小さ過ぎて餘りにも大ざつばな事であらうと思ひます。

幼児の生活を指導する事は極めて微妙たる所に有るので、同じ場合の取扱ひに於ても、取扱ふ其の人により、又取扱はれる其の幼児に依つて異なるもので、要は指導者そのもの、人格によつて、人間によつてされるもの、深く信するものであります。

かく申しますものゝ幼児の自由遊びの取扱ひ之即ち幼児教育の大部であるに申しまして過言ではなからうと思へます。

將來人として立つべき基礎を造る幼児教育でありますので、一朝一夕の業で無く永遠の仕事で有るを考へ大いに

ピン、ヨ、ロー

の三音に扱はれてゐます。それと同じ、「さんび」にしまし
て

ト、ン、ビ

ではなくて、明かに

ト、ン、ビ

なので、二音に扱つてあります。梁田氏の名曲たる
所以です。

「慾ばり犬」(梁田氏曲)は、イソップのあの犬のこゝです
が、この歌詞の第二節が

あれも ぬすんだ肉だらう

うばひ取らうと 大ごゑで

一こゑ ワン ミ吠えてみた

さいふがありますが、その「ワン」も決して、
ワ、ン、

ではなくて、唯、一音「ワン」なのです。

要するに、擬聲の中には、唱歌上、外國語と同じく、取
扱はれなくてはならないのに、唯、曲に左右されたり、半
可通の修辭のために、不自然に取扱はれたりしてゐるもの
が少なくありません。そんな取扱方をされてゐる擬聲の效
果は、全然、ゼロですから、外國語に注意するのと同じ注意
を、此の方面へも、向けたいご存じます。

(二六八頁より)

考慮を要する最も至難なる最も大切な事ご思ひます。

私共今日斯うすれば良いご確心を以て精一杯やりました
事も明日ごもなれば早や失敗を感じる事さへあります、こ
のやうな凡人がこの大きな仕事を易々ご判る筈も無いごも
思ひますが然しそう一考の元に片づけるわけにも参りませ
ん。

明治の教育が昭和の今日表はれる如く、幾十年の後に始
めて表はれ判るものか、それも分らないものでありませう。

現實の自己の無能無力を感じ、人格の向上を希ふ我々は
その日その日先づ信ずる方向に力一杯働き一步一步進ん
で行く處に私共の生活の眞の意義があるのではなからうか
ご考へます。